書き込み年表 advanced⑨、 中国史 5(五代十国～宋王朝滅亡まで(皇帝の年代は在位をあらわす)

900 唐滅亡、朱全忠後梁の太祖に(907)

五代十国(907～979) 華北で興亡、都:開封

後梁(907～923) 武断政治 | 遼(契丹, 916～) 耶律阿保機

後唐(923～936) 藩鎮(節度使が治める地方府)が専制支配 | 契丹文字制定(920頃)

貴族から土地を奪う ⇒ 旧来の貴族没落 | 遼、渤海を滅ぼす(926)

⇒ 形勢戸(新興地主層)出現

佃戸(小作人)を用いて耕作 ⇒ 科挙、形勢戸に有利

⇒ 士大夫階級の出現 地主=官人(官僚)=知識人

後晋(936～946) 後晋の建国を援助した見返りとして ⇒ 遼、燕雲十六州獲得(936)

後周(951～960) 燕雲十六州

二代世宗、燕雲十六州一部奪回 現在の北京(燕州)、大同(雲州)を中心とした地域

近衛兵の禁軍を組織 ⇓ 趙匡胤、禁軍総司令 長城の南にあり、防衛の拠点となる地域

宋(北宋, 960～1127) 太祖(趙匡胤 960～976) 都:開封

太宗(趙匡義, 976～997) 文治政治 藩鎮(地方勢力)の乱立による混乱を防ぐ

軍事改革 ・藩鎮を解体 皇帝直属の禁軍に兵を吸収 | 遼、宋の侵入撃退(979)

・中央に枢密院(軍事行政担当)を置く | 遼、宋に侵入(986)

長官には文官を置く ⇒ 武人勢力排除

1000 科挙改革 3段階の試験(新たに殿試を置く) | 澶淵の盟(1004)

州試 地方での試験 省試 中央の礼部で行う試験 | 宋を兄、遼を弟とする

殿試 皇帝自らが施行する試験 | 宋は遼に毎年銀10万両、絹20万匹

⇒ 殿試の成績で序列を決める 皇帝への忠誠を高める狙い | (1匹=布地4丈, 12.29m、1両=37.3g)

宋の社会・経済 経済的繁栄

農業 占城稲(チャンパー米)ベトナムより導入 ⇒ 二毛作の普及 | 遼の二重統治(北と南で分ける)

⇒「蘇湖(江浙)熟すれば天下足る」(長江下流のデルタ地帯) | 北面官 部族制(遊牧民族)

商品作物の栽培盛んに ⇒ 茶の需要高まる | 南面官 州県制(農耕民)

工業 青磁、白磁(宋磁) 代表都市、景徳鎮

⇓ 余剰作物の増加、穀物以外の生産増加 | (チベット系タングート族)

商業 都市(城内)での商業 唐までの坊市制くずれ、夜間営業可能に | 西夏(1038～) 李元昊

草市 城外での市場 交通の要地、寺社の門前など

⇒ 鎮・市の成立 地方の小商業都市 | 慶暦の和約(1044)

交子・会子の発行 商人の手形から政府発行の紙幣へ | 宋を君、西夏を臣とする

(西欧の自治都市の出現(11世紀以降)に対応) | 宋は西夏に毎年銀5万両、絹13万匹

貿易 泉州・広州・臨安(杭州)・明州(明以降寧波) | 茶2万斤贈る

軍事・外交費用の増大、軍事力の弱体、官僚組織の肥大化(文治政治により)

⇓

6代神宗(1067～1085)

王安石の新法(1069～1076) 目的:財政再建、富国強兵

富国	均輸法	各地の特産物を集め、不足地で売る(漢の制度と同じ)
	青苗法	作付けの時、貧農に20%以下の低利で貸し付け、収穫時に返済させる(貧農救済目的)
	市易法	中小商人の商品を買い上げ、低利で融資する(中小商人保護、大商人抑制)
	募役法	種々の労役の代わりに税を徴収、希望者を募り、労役の対価を支払う
	農田水利法	水路・河川の改修、土地の造成
	方田均税法	耕地を測量し直し、生産力に応じて1等から5等に評価、それにより地税を計算
強兵	保甲法	農民を農閑期に訓練(戦時の戦力と平時の治安維持)
	保馬法	農民に馬を飼育させ、戦時に集める(平時は農耕用に)

⇓

旧法党の司馬光、宰相となる(1086) ⇐ 旧法党による反対

新法党と旧法党の対立 ⇒ 政治の混乱 | 金(女真) 完顔阿骨打(1115～)

1100 8代徽宗(1100～1125) 中小自作農の没落 | 宋、金と同盟(歳幣の支払い条件に)

風流天子 宮殿・庭園の建設で民衆を徴発 | 金、遼を滅ぼす(1125)

方臘(ほうろう)の乱(1120) ⇐ | 宋、約束の歳幣支払わず

靖康の変(1126～1127) 金、徽宗・欽宗(徽宗の子)ら皇族を連行 北宋滅亡

⇓ 趙構(欽宗の弟)、江南に逃れる | 遼、耶律大石西走

南宋(1127～1279) 高宗(趙構, 1127～1162) 都:臨安(杭州) | カラ=キタイ(西遼)建国(1132)

和平派(秦檜)と主戦派(岳飛)の対立

紹興の和議(1142) 金を君とし、南宋臣下となる | 金の二重統治

淮河を国境とし、金に銀25万両、絹25万匹贈る | 漢人 州県制

遊牧民 謀克・猛安を単位とする軍事・行政

1200 テムジン(チンギス=ハン)モンゴルを統一(1206)

モンゴル、西夏を滅ぼす(1227)

元軍、臨安を占領、南宋降伏(1276) | モンゴル、金を滅ぼす(1234)

崖山の戦い(1279) | フビライ、国号を元とする(1271)